

区民参加型調査「としま生きものさがし」

1. 調査の目的

本業務における区民参加型調査の目的は、生物多様性についての普及啓発である。また多くの人の目で調査することで、夜間や私有地の生きものの生息・生育状況を記録でき、希少種の発見などが期待できる。さらに動植物生態調査と連携することによって、区内の動植物相を把握することも目的である。

2. 報告型調査

(1) 実施内容

今年度の実施内容は以下の通りである。今年度は期間を1カ月延長し、10月末までとした。

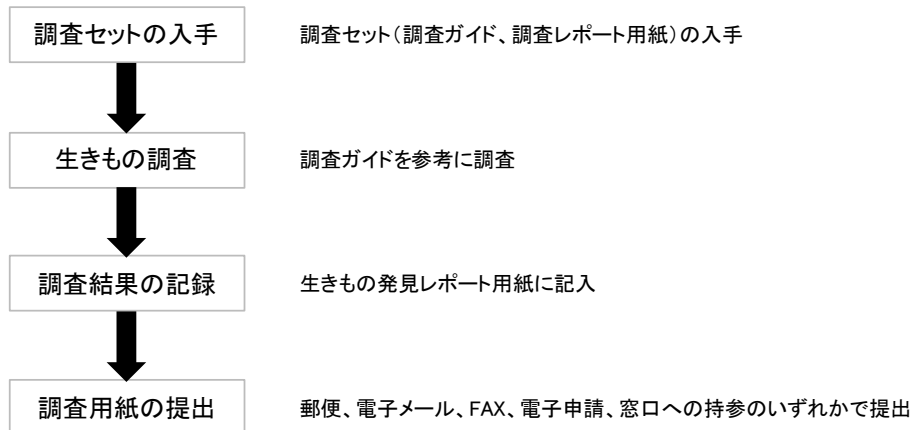
期 間：令和7年6月1日～10月31日

調査の流れ：図Ⅱ-2-1参照

調査対象種：図Ⅱ-2-2参照

配 布 物：としま生きものさがし 2025年調査ガイド（図Ⅱ-2-2）
調査レポート用紙（図Ⅱ-2-3、4）

配布場所：環境政策課窓口、東・西区民事務所、区民ひろば、図書館、地域文化（入手方法）創造館等の施設にて配架。区立小学校3～4年生、区立保育園5歳児クラス、区立幼稚園4、5歳児クラス、フレイル事業参加者に配布。
その他 豊島区ホームページからもダウンロード可。



図Ⅱ-2-1 調査の流れ

としま生きものさがし 2025

区民参加型生きもの調査ガイド

生きものさがしの参加方法

1. 生きものをさがす
さがす場所は、区内であればどこでもOK!
2. 生きもの発見レポートを書く
生きものを見つけたら、生きもの発見レポート用紙に書く!
3. 生きもの発見レポートを送る
右の「生きもの発見レポートの送り方」を見て送ろう!
(写真も撮れたら送ろう!)

生きもの発見レポートの送り方

- ① 郵便で送る。
- ② Eメールで送る。
- ③ FAXで送る。
- ④ 区役所の窓口へ持参する。
(本庁舎6階・平日のみ)
- ⑤ 2次元コードから送る。

下の送り先に送ろう!

生きもの発見レポートの送り先

①④ 〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1
豊島区環境政策課 環境計画グループ 宛

② Eメール：A0029180@city.toshima.lg.jp

③ FAX：03-3980-5134

問い合わせ先 TEL：03-3981-1597

生きもの発見レポートの送り先 しめ切り 2025年11月14日(金)

⑤ 右の2次元コードから簡単に送ることが出来ます。
(写真も送る場合におすすです!)

見つけた生きもの写真も送ってね!

②のEメールで写真を送るときは、一度に4MBくらいまでの大きさでお願いします。
いただいた写真・絵・感想等は、区の広報紙やニュースレターなどで使用させていただきます。
またいただいた写真等は原則として返却いたしません。
*調査の結果は、ニュースレターとして、区のホームページなどに掲載しみなさんにお知らせいたします。
*生きもの発見レポート用紙をご提出いただいた方に、ささやかなプレゼントを差し上げております。
発見レポート用紙こちらにお名前・ご住所・電話番号をご記入の上ご提出ください(窓口にご提出の場合は不要です)。

生きものをさがす時の注意

1. むやみに生きものを殺さないようにしよう。
2. 観察した生きものは、速やかに返却しよう。
3. 蚊にさされないように虫よけスプレーなどを使おう。
4. 毛虫やハチ、ヘビなどの生きものには注意しよう。
5. 小さな子は大人と一緒に調査しよう。
6. さげんな場所や他人の土地には入らないようにしよう。
7. どの生きものも帰ったら必ず手を洗おう。

「としま生きものさがし」ページへ!

生きもの発見レポート用紙は、豊島区のホームページの「としま生きものさがし(生物多様性)」のページからダウンロード出来ます。
たくさん集めてくださる方には、生きもの発見レポート用紙(自由記入版)もおすすです!

調査期間

今年10月まで延長します!

6/1(日)～10/31(金)

目指すターゲットは15!

区民のみなさん自身が生きもの調査員になって、区内の生態調査を行います。
毎年さがすことで、生きものがどこにどのくらいいるかの変化を知ることができ、生物の多様性を保つための重要なデータになります。

SUSTAINABLE GOALS

豊島区は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



参加方法はこちら

豊島区環境政策課 環境政策課
調査・発行：豊島区環境情報部 環境政策課
編集協力：株式会社 土曜計画研究所

図Ⅱ-2-2 としま生きものさがし 2025年調査ガイド (1、4ページ)

さがしてほしい生きもの 23種（ここに書いていない生きものも見つけたらおしえてね。）

チョウのなかま

花びらなど形の似ているところをさがしてみよう。幼虫が食べる葉のまわりをさがすと、卵をうみに来た成虫にあえることがあります。

① アゲハ（ナミアゲハ）
幼虫の食べる葉：ミカン（タチミカン、サンショウなど）

② クロアゲハ
幼虫の食べる葉：ミカン（アツミカン、サンショウなど）

③ アオスジアゲハ
幼虫の食べる葉：クスノキ（クスノキ、タブノキなど）

④ ツマグロヒヨウモン
幼虫の食べる葉：スミレ（タチツボスミシ、ハンジ）

トンボのなかま

池のまわりをさがしてみよう。

⑦ シオカラトンボ
オスはうすい水色。メスは体がくすんだ茶色で、脚は黒緑色です。

⑧ オオシオカラトンボ
オスもメスもはねの付け根や脚の色が黒っぽいです。

バッタ・カマキリのなかま

草むらや木の上をさがしてみよう。

⑤ モンシロチョウ
幼虫の食べる葉：アブラナ（セイヨウアブラナなど）

⑥ キタキチョウ
幼虫の食べる葉：マメ（マメのなかま（ハネのなかま、ネムノキなど）

セミのなかま

鳴き声により、木の幹や枝の上をさがしてみよう。

⑫ アブラゼミ
ジュリリ ジュリリ

⑬ ミンミンゼミ
ミンミン ミンミン

アマガエル

池のまわりをさがしてみよう。

⑨ ギンヤンマ
翼の根元は黒い線があります。翼の根元の大きなトンボです。

⑩ クロスジギンヤンマ
オスもメスもはねの付け根や脚の色が黒っぽいです。

その他の生きもの

音をさがす時は、鳴き声により、芝生広場など開けた草地をさがしてみよう。

⑪ アキアカネ

⑫ クマゼミ
シャーン シャーン

トビ

池のまわりをさがしてみよう。

⑭ オンブバッタ
うるうるは、ショウリウヨウバッタよりみずみずしいです。

⑮ ハラビロカマキリ
はねに白い点があります。

その他の生きもの

音をさがす時は、鳴き声により、芝生広場など開けた草地をさがしてみよう。

⑯ オオカマキリ
体が大きく、はねに白い点はありません。

⑰ ヒヨドリ
ヒーヨ ヒーヨ

トビ

池のまわりをさがしてみよう。

⑱ アスマヒキガエル
池のまわりの林をさがしてみよう。

⑲ ニホンヤモリ
家のまわりをさがしてみよう。

図Ⅱ-2-2 としま生きものさがし 2025年調査ガイド（2、3ページ）

としま生きものさがし2025 **生きもの発見レポート用紙（おもて）**

◆下の「豊島区に」と「年れい」のあてはまるところを○でかこんでください。

としまぐ 豊島区に： さいじゅう / さいまん / さいがく / その他 在住 / 在勤 / 在学 / その他	年れい： 乳幼児（保育園・幼稚園・その他）／学生（小・中・高）／その他の10代 20代 / 30代 / 40代 / 50代 / 60代 / 70代 / 80代以上
--	---

◆下に書かれている生きものをみつけたら、みつけた日とみつけた場所を書いてください。

（この用紙に書ききれない場合は、生きもの発見レポート（自由記入版）もホームページにございますので、ご利用ください。お手持ちのレポート用紙などを使用いただいても構いません。）

No.	みつけた生きもの	みつけた日 (月日)	みつけた場所 (町、公園、学校、駅、施設などの名前、自宅などの場合は町名等を書きます。)	セミのなかま		
例	ミンミンゼミ	8/1	自宅の庭 (南池袋2丁目)	12	アブラゼミ	/
				13	ミンミンゼミ	/
				14	クマゼミ	/
				15	ヒグラシ	/
					そのほかのセミ ()	/
チョウのなかま				バッタ・カマキリのなかま		
1	アゲハ（ナミアゲハ）	/		16	ショウリョウバッタ	/
2	クロアゲハ	/		17	オンブバッタ	/
3	アオスジアゲハ	/		18	ハラビロカマキリ	/
4	ツマグロヒョウモン	/		19	オオカマキリ	/
5	モンシロチョウ	/			そのほかのバッタ・カマキリ ()	/
6	キタキチョウ	/				
	そのほかのチョウ ()	/				
トンボのなかま				その他の生きもの		
7	シオカラトンボ	/		20	ヒヨドリ	/
8	オオシオカラトンボ	/		21	ムクドリ	/
9	ギンヤンマ	/		22	アズマヒキガエル	/
10	クロスジギンヤンマ	/		23	ニホンヤモリ	/
11	アキアカネ	/				
	そのほかのトンボ ()	/				
				◆ほかの生きものを見つけたら、うらに書いてください。		

図Ⅱ-2-3 調査レポート用紙（表面）

としま生きものさがし2025 **生きもの発見レポート用紙（うら）**

No.	みつけた生きもの	みつけた日 (月日)	みつけた場所 (町、公園、学校、駅、施設などの名前、自宅などの場合は町名等を書きます。)	No.	みつけた生きもの	みつけた日 (月日)	みつけた場所 (町、公園、学校、駅、施設などの名前、自宅などの場合は町名等を書きます。)
例	ナナホシテントウ	7/19	みなみけふくろちょうめ 南池袋2丁目	例	ジョロウグモ	9/25	としましょうがっこう としま小学校
1		/		6		/	
2		/		7		/	
3		/		8		/	
4		/		9		/	
5		/		10		/	

生きものさがしに参加した感想などがあれば自由に書いてください。（生きものイラストも待ってるよ！）

自然や生きものを守るために、これからやってみたいこと・自分ができていることを教えてください。

生きものさがしプレゼント申し込み欄（窓口に出す場合は書きません）

名前	住所〒
	電話番号

ニュースレター発行のお知らせ希望欄

※ニュースレターは令和8年2月頃、ホームページに掲載予定です。発行次第、Eメールでお知らせします。

お知らせを希望する場合はEメールアドレスをご記入ください	Eメール：
------------------------------	-------

【生きもの発見レポートの送り方】

- つぎのいずれかの方法で送ってください。
- ①郵便で送る ②Eメールで送る ③FAXで送る
 - ④区役所の窓口を持参する（本庁舎6階・平日のみ）
 - ⑤二次元コードから送る
- ※写真を提供していただける場合は、①、②、④、⑤の方法で送ってください。（②は一度に4MBくらいまで）
- ※いただいた写真・絵・感想等は広報などで使わせていただく場合があります。写真等は原則として返却いたしません。

【送り先】締切 令和7年11月14日まで

- ①④〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1
豊島区 環境政策課 環境計画グループ 宛
- ②Eメール：
A0029180@city.toshima.lg.jp ⑤二次元コードでの報告はこちらから
- ③FAX：
03-3980-5134
- 問い合わせ先 TEL：03-3981-1597



図Ⅱ-2-3 調査レポート用紙（裏面）

としき生きものさがし2025 **生きもの発見レポート用紙（おもて）**

◆下の「豊島区に」と「年れい」のあてはまるところを○でかこんでください。

豊島区に： さいじゅう / さいきん / さいがく / その他	年れい： 乳幼児（保育園・幼稚園・その他）／学生（小・中・高）／その他の10代 20代 / 30代 / 40代 / 50代 / 60代 / 70代 / 80代以上
------------------------------------	---

◆さがしてほしい生きもの（調査ガイドも参考にしね。ここに書いていない生きものもみついたら教えてね。）

チョウのなかま… ①アゲハ（ナミアゲハ） ②クロアゲハ ③アオスジアゲハ ④ツマグロヒョウモン ⑤モンシロチョウ
⑥キタキチョウ

トンボのなかま… ⑦シオカラトンボ ⑧オオシオカラトンボ ⑨ギンヤンマ ⑩クロスジギンヤンマ ⑪アキアカネ

ゼミのなかま… ⑫アブラゼミ ⑬ミンミンゼミ ⑭クマゼミ ⑮ヒグラシ

バッタのなかま… ⑯ショウリョウバッタ ⑰オンバッタ ⑱ハラビロカマキリ ⑲オオカマキリ

その他のいきもの… ⑳ヒヨドリ ㉑ムクドリ ㉒アズマヒキガエル ㉓ニホンヤモリ

みつけた生きもの	みつけた日 （月日）	みつけた場所 （町、公園、学校、駅、施設などの名前、自宅などの場合は町名等を書きます。）	みつけた生きもの	みつけた日 （月日）	みつけた場所 （町、公園、学校、駅、施設などの名前、自宅などの場合は町名等を書きます。）
例 ミンミンゼミ	8/1	自宅の庭 (南池袋2丁目)	15	/	
1	/		16	/	
2	/		17	/	
3	/		18	/	
4	/		19	/	
5	/		20	/	
6	/		21	/	
7	/		22	/	
8	/		23	/	
9	/		24	/	
10	/		25	/	
11	/		26	/	
12	/		27	/	
13	/		28	/	
14	/		29	/	

◆提出方法は、うらにあります。

図Ⅱ-2-4 調査レポート用紙自由記入版（表面）

としま生きものさがし2025 生きもの発見レポート用紙 (うら)

みつけた生きもの	みつけた日 (月日)	みつけた場所 (町、公園、学校、駅、施設などの名前、自宅などの場合は町名等を書きます。)	みつけた生きもの	みつけた日 (月日)	みつけた場所 (町、公園、学校、駅、施設などの名前、自宅などの場合は町名等を書きます。)
30	/		37	/	
31	/		38	/	
32	/		39	/	
33	/		40	/	
34	/		41	/	
35	/		42	/	
36	/		43	/	

生きものさがしに参加した感想などがあれば自由に書いてください。(生きもののイラストも待ってるよ!)

自然や生きものを守るために、これからやってみたいこと・自分ができることを教えてください。

生きものさがしプレゼント申し込み欄 (窓口に出す場合は書きません)

名前	住所
	電話番号

ニュースレター発行のお知らせ希望欄

※ニュースレターは令和8年2月頃、ホームページに掲載予定です。発行次第、Eメールでお知らせします。

お知らせを希望する場合はEメールアドレスをご記入ください Eメール:

【生きもの発見レポートの送り方】

つぎのいずれかの方法で送ってください。
 ①郵便で送る ②Eメールで送る ③FAXで送る
 ④区役所の窓口を持参する(本庁舎6階・平日のみ)
 ⑤二次元コードから送る
 ※写真を提供していただける場合は、①、②、④、⑤の方法で送ってください。(②は一度に4MBくらいまで)
 ※いただいた写真・絵・感想等は広報などで使わせていただく場合があります。写真等は原則として返却いたしません。

【送り先】締切 令和7年11月14日まで

①④〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1

豊島区 環境政策課 環境計画グループ宛

②Eメール:

A0029180@city.toshima.lg.jp

③FAX:

03-3980-5134

問い合わせ先 TEL: 03-3981-1597

⑤二次元コードでの報告はこちらから



(2) 調査結果

概要を表Ⅱ-2-1に示す。

表Ⅱ-2-1 報告件数等の概要

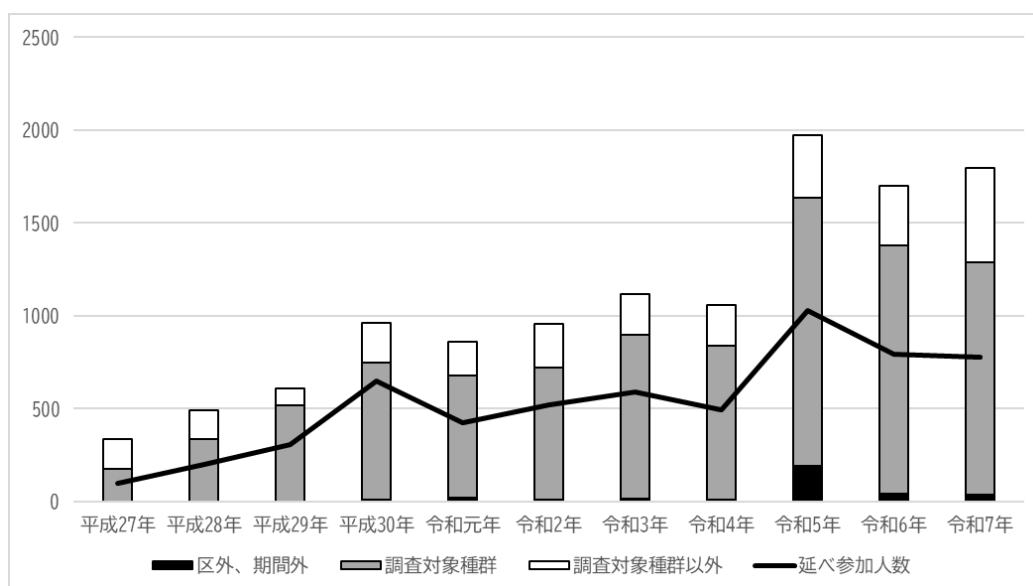
項目		令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	
報告件数		1,059	1,973	1,701	1,797	
(うち区外、期間外)		(11)	(190)	(41)	(34)	
調査対象種(種群)件数		826	1,447	1,335	1,256	
調査用紙 回収枚数	回収 方法	メール	23	10	19	9
		FAX	2	0	0	0
		郵送	7	10	34	19
		窓口	68	287	67	116
		電子申請	0	0	0	7
		イベント	-	-	-	-
		電話	1	0	0	0
		計	101	307	120	151
延べ参加人数		495	1,029	794	775	

1) 報告件数と延べ参加人数の推移

本調査開始以降の報告件数と延べ人数の推移を示す(図Ⅱ-2-5)。

報告件数は、「としま生きものがし 2025 調査ガイド」掲載の調査対象種(種群)の報告、調査対象種(種群)以外の報告、区外・期間外の報告、に分類している。ただし、調査対象種群は必要に応じて見直しているため、年により内容が異なる。延べ人数は、人数×日数で集計している。

今年度は、一人日当たりの報告件数が過去5年間で最も多かった(2.3件/人日)。調査用紙の回収方法では、電子申請で7件の利用があった。写真は電子申請、コメントはメールというように使い分けられていた報告もあった。



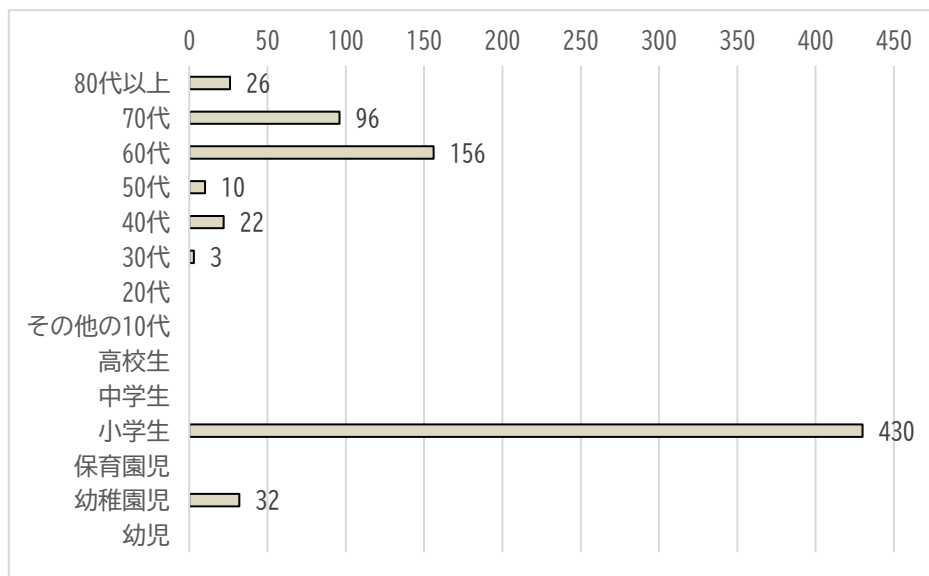
図Ⅱ-2-5 報告件数と延べ参加人数の推移

2) 参加者の属性

①年代

参加者の年代別の延べ人数を示す（図Ⅱ－2－6）。

小学生が延べ430人で最も多かった。次いで60代が156人、70代が96人と続く。
今年度は保育園児と、中学生から20代にかけての年代からの報告はなかった。



図Ⅱ－2－6 年代別の延べ人数

②居住区分

参加者の在住、在勤、在学の別を示す（表Ⅱ－2－2）。

在住者が延べ736人と最も多かった。

表Ⅱ－2－2 在住、在勤、在学別の延べ人数

項目	在住	在勤	在学	計
延べ人数（人）	736	1	38	775

3) 報告の内訳

①地域別の件数

地域別の報告件数を示す（表Ⅱ－2－3）。

地域別では目白、池袋、駒込の順で多かった。目白では学習院大学、池袋は池袋の森、駒込は染井霊園や駒込小学校からの報告が大きく占めている。

表Ⅱ－2－3 地域別の報告件数

町名	件数
目白	632
池袋	243
駒込	149
巣鴨	136
南長崎	92
高田	70
南池袋	67
雑司が谷	42
千早	36
長崎	31
東池袋	27
北大塚	24
西巣鴨	18
西池袋	17
要町	7
高松	5
池袋本町	5
上池袋	3
千川	3
南大塚	0
不明	166
区外	24
計	1,797

②分類群別の件数

種数は合計 199 種（重複している可能性があるものや疑わしいものを除く）であった。昆虫類が 1,328 件、131 種と最も多く、次いで鳥類が 179 件、29 種であった（表Ⅱ－2－4）。

表Ⅱ－2－4 分類群別の報告件数および種数

	件数	種数
植物	7	7
哺乳類	7	5
鳥類	179	29
爬虫類	65	4
両生類	37	1
昆虫類	1,328	131
魚類	28	5
クモ類	24	7
その他	88	10
総計	1,763	199

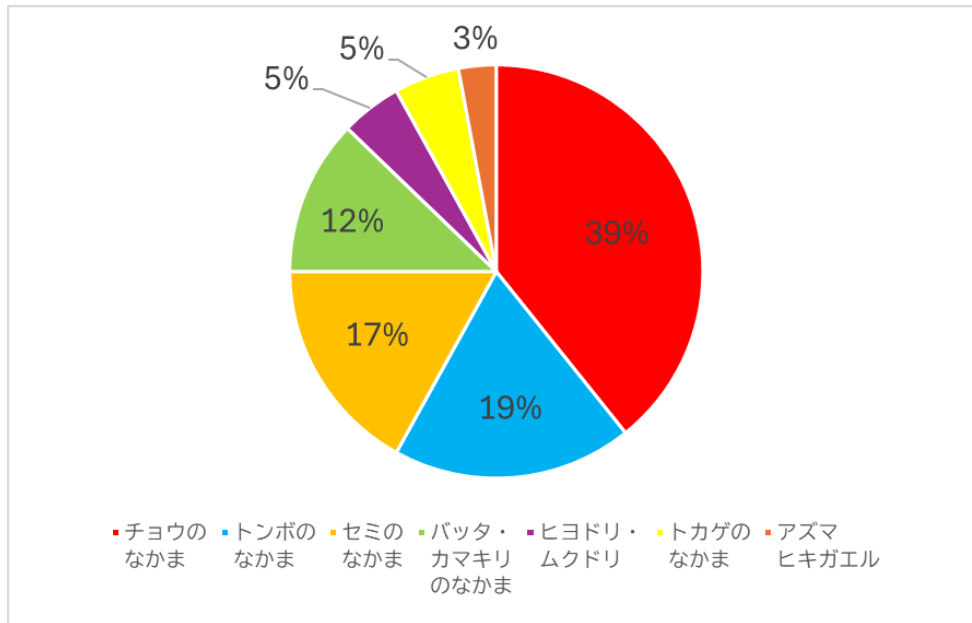
※区外・期間外の報告 34 件を除く。

※種数は、重複している可能性があるものや疑わしいものを除く。

③調査対象種（種群）の件数

「としま生きものさがし 2025 調査ガイド」掲載の調査対象種（種群）の報告件数は 1,256 件であった（区外・期間外の報告を除く）。調査ガイドで紹介していない種でも、その種群に含まれれば集計に入れた。例えば、チョウのなかまのヤマトシジミは調査ガイドに掲載していないが、件数にカウントした。なお、調査ガイドに掲載した調査対象種は表Ⅱ－２－５において網掛けで示している。

種群別では、チョウのなかまの報告が 39%を占め、次いでトンボのなかま、セミのなかまが多かった（図Ⅱ－２－７）。種別ではナミアゲハの報告が 123 件で最も多く、次にアブラゼミ、シオカラトンボの順であった（表Ⅱ－２－５）。



図Ⅱ－２－７ 調査対象種（種群）の報告件数割合

表Ⅱ－２－５ 調査対象種（種群）の報告件数（1/2）

種名	チョウのなかま	トンボのなかま	セミのなかま	バッタ・カマキリのなかま	ヒヨドリ・ムクドリ	トカゲのなかま	アズマヒキガエル	計
ナミアゲハ	123							123
モンシロチョウ	77							77
ヤマトシジミ	55							55
ツマグロヒョウモン	53							53
アオスジアゲハ	43							43
キタキチョウ	31							31
クロアゲハ	30							30
アカボシゴマダラ	7							7
セスジスズメ	6							6
オオスカシバ	5							5
ヒメジャノメ	5							5
ホシホウジャク	5							5
イチモンジセセリ	4							4
チャバネセセリ	3							3
モンキチョウ	2							2
カラスアゲハ	2							2
ゴマダラチョウ	2							2
サザナミスズメ	2							2
ヒメエグリバ	2							2
イラガ	1					1		1
ウラナミシジミ	1							1
オオタバコガ	1							1
オオミスアオ	1							1
カノコガ	1							1
キタテハ	1							1

表Ⅱ-2-5 調査対象種（種群）の報告件数（2/2）

種名	チョウの なかま	トンボの なかま	セミの なかま	バッタ・ カマキリ のなかま	ヒヨドリ・ ムクドリ	トカゲの なかま	アズマ ヒキガエル	計
クマゴマダラヒトリ	1							1
シモフリスズメ	1							1
スジグロシロチョウ	1							1
ツゲノメイガ	1							1
ヒメシロテンヤガ	1							1
ルリタテハ	1							1
ヒロヘリアオイラガ	1							1
ウチスズメ?	1							1
ジャノメチョウ科の一種	4							4
ホウジャク亜科の一種	1							1
チョウ目の一種	17							17
シオカラトンボ		83						83
アキアカネ		44						44
ギンヤンマ		32						32
オオシオカラトンボ		20						20
アジアイトトンボ		11						11
クロスジギンヤンマ		9						9
ウスバキトンボ		4						4
アオイトトンボ		2						2
キイトトンボ		2						2
ノシメトンボ		2						2
オオアオイトトンボ		1						1
オニヤンマ		1						1
ホソミイトトンボ		1						1
イトトンボ亜目の一種		10						10
トンボ目の一種		14						14
アブラゼミ			90					90
ミンミンゼミ			81					81
クマゼミ			17					17
ツクツクボウシ			16					16
ヒグラシ			5					5
ニイニイゼミ			1					1
セミ科の一種			3					3
オンブバッタ				27				27
ショウリョウバッタ				21				21
オオカマキリ				16				16
ハラビロカマキリ				15				15
ツツレサセコオロギ				11				11
カネタタキ				9				9
エンマコオロギ				7				7
クビキリギス				6				6
アオマツムシ				5				5
コカマキリ				5				5
ツチイナゴ				4				4
イボバッタ				2				2
ササキリ				1				1
セスジツユムシ				1				1
トノサマバッタ				1				1
コオロギ科の一種				14				14
カマキリ科の一種				3				3
キリギリス科の一種				2				2
バッタ科の一種				2				2
カマドウマ科の一種				1				1
ヒヨドリ					43			43
ムクドリ					17			17
ニホンヤモリ						58		58
ヒガシニホントカゲ						3		3
ニホンカナヘビ						3		3
アズマヒキガエル							37	37
計	493	236	213	153	60	64	37	1,256

④新たに確認された種

区民参加型調査により、動植物生態調査を含めて確認されていない種が新たに19種、報告された(表Ⅱ-2-6、図Ⅱ-2-8)。飼育されたものや、園芸草本類は除く。

鳥類では、染井霊園で秋の渡り鳥を含む複数種が報告された。中には都内で希少となっている種もあり、一時的な滞在、中継地として貴重な環境であることがうかがえる。昆虫類ではいずれも身近な種であるが、トンボ類からカミキリムシ類まで幅広い種が新たに報告された。

表Ⅱ-2-6 新たに確認された種

分類群	目名	科名	種名	備考
哺乳類	ネズミ	ネズミ	ハツカネズミ	重点対策外来種
鳥類	ハト	ハト	アオバト	都RL(区部):非分布
	アマツバメ	アマツバメ	ヒメアマツバメ	都RL(区部):VU
	タカ	タカ	オオタカ	国RL:NT、都RL(区部):EN
	スズメ	カササギヒタキ	サンコウチョウ	都RL(区部):EX
		ムクドリ	コムクドリ	
昆虫類	トンボ	アオイトトンボ	オオアオイトトンボ	
	カメムシ	ハゴロモ	アミガサハゴロモ	
		オオホシカメムシ	ヒメホシカメムシ	
		カメムシ	アカスジカメムシ	
	チョウ	イラガ	イラガ	
		ヒトリガ	クワゴマダラヒトリ	
		ヤガ	ヨトウガ	
			ヒメエグリバ	
	ハエ	ハナアブ	クロベッコウハナアブ	
	コウチュウ	ジョウカイボン	セボシジョウカイ	
		カミキリムシ	テツイロヒメカミキリ	
			リンゴカミキリ	



コムクドリ (令和7年9月12日)
駒込五丁目



テツイロヒメカミキリ
(令和7年6月30日)
駒込四丁目

図Ⅱ-2-8 新たに確認された主な種

(3) 広報ツール作成

1) 作成の目的

区民の方への「としま生きものさがし 2025」の結果報告、および生物多様性についての普及啓発と今後の参加型（報告型）調査への参加を促すことを目的とする。

2) 構成

A3 両面で 2 つ折りし、A4 サイズ 4 ページのニュースレターとした。ニュースレター令和 7 年号を図Ⅱ-2-9 に示す。

1 ページ目：「フォトコーナー」

参加者から投稿いただいた写真を掲載した。

2 ページ目：「調査結果」

報告の内訳を、調査対象種（種群）と調査対象種（種群）外の生きものに分け、円グラフで示した。見つけた生きものランキングや、見つかった希少な生きもの、報告件数の比較などを、イラストやグラフを交えて紹介した。

3 ページ目：「としまで見つけた生きものマップ」「感想」

どこでどんな生きものが見つかったかを、写真と地図を用いて紹介した。また、参加者の感想と、いただいたイラストの一部を掲載した。

4 ページ目：「コラム」

としま生きものさがし 10 周年に関するコラムを掲載した。報告数や報告された分類群の推移、生きものランキングなどを取り上げた。

としま生きものがし

今年もたくさん見つかりました！

生きものがし10周年
目録の目録

ニュースレター 令和7年号
編集・発行：豊島区 環境清掃部 環境政策課

調査期間：
令和7年6月1日～10月31日

ご協力
みんなの
アオト
コーナー
ありがとうございます！

- ツマノシロキアゲハ 早稲田町
- クロシロキアゲハ 北沢区
- アサギアゲハ 北沢区
- アサギアゲハ 北沢区
- アサギアゲハ 北沢区
- アサギアゲハ 北沢区
- アサギアゲハ 北沢区
- アサギアゲハ 北沢区
- アサギアゲハ 北沢区
- アサギアゲハ 北沢区
- アサギアゲハ 北沢区
- アサギアゲハ 北沢区
- アサギアゲハ 北沢区
- アサギアゲハ 北沢区

生きものさがし10周年

2015年度からスタートした「としま生きものさがし」が、10周年(=11年目)を迎えました。

どのくらい集まった？ 計11,855件！

2015.2016年度は「生きもの観察ツアー」(1日)の生きものさがしウォーキングツアーも開催しました。

生きもの傾向

- ・都市の生きものを中心に、緑地や歴史のある場所では、郊外や雑木林の生きものも見られます。
- ・東京都で絶滅危惧のツミ(ツカノオカマ)が、2019年から発見報告されています。
- ・クマゼミやツマノシロキアゲハなど、あたたかい地域の生きものが増えています。

イケ・サンパークで見つかりました！
ごからもぜひご注目ください。

生きものランキング ※2015～2025年度の合計

1. ナミアゲハ (926件)
2. モンシロチョウ (709件)
3. アブラゼミ (674件)

10年であつた新たななみどり

なぜ生きものをさがすの？
地球上では、たくさん生きものがある場所でも暮らし互いに支え合って生きています。「としま生きものさがし」は、皆さん自身で調べてもらうことで、身近な生きものへの理解や関心を高め、地域の生物多様性の保全につなげることを目指しています。

観察はどうやって見るの？
ニュースレターや区のホームページ(生物多様性のページ)でお知らせします。これまでのニュースレターやホームページから環境政策課のwebサイト「いきものログ」にも情報を入力していただきますので、区内にどんな生きものがあるか調べることができます。

どうやって参加するの？
令和8年度の参加方法は、区の広報やホームページでお知らせします。(令和8年6月予定)

持続可能な開発目標(SDGs)を推進しています。

編集・発行：豊島区 環境清掃部 環境政策課 TEL：03-3981-1597 編集協力：株式会社 生態計画研究所

図Ⅱ-2-9 ニュースレター 令和7年号 (1、4ページ)

(4) 今後の展望

1) 今年度の成果

①参加者数

今年度は期間を1カ月延長し、10月末まで実施したところ、イベントでの配布があった2023年度に次いで過去2番目に多い件数が寄せられた。

今年度は小学生の参加が多いことが特徴であった。団体での取り組みのほか、個人や家庭で取り組んでくださった方もいた。一方で、例年最も多い保育園児の取り組みが今年度は0件であった。団体参加がなかったこと、また共働き世帯では時間が限られ、取り組みにくい背景があると考えられる。

加えて、例年の課題として10代から30代の参加が少ないことが挙げられる。学生や働き始めの世代に対しては、通学・通勤路などで、日常的に利用する場所で気が付いた生きものをメモするような、気軽に参加できる取り組みとしての呼びかけが望まれる。

②報告内容

ナミアゲハ、アブラゼミ、シオカラトンボが上位を占めた。これらが区民の方にとって身近な種であることがうかがえる。区内の希少な生きもののうち、毎年報告のあるツミなども安定して生息できているようである。

今年度から調査期間を延長したことで、秋の生きものが報告されやすくなった。例として秋に見つかりやすいカマキリ類やクモ類、渡り鳥などである。報告件数を月別に見ても、6月：208件、7月：334件、8月：696件、9月：208件、10月：280件となっている。6月、9月より10月の報告件数が上回っていることから、一定の取り組みやすさがあったようである。

感想を見ると「たのしかった」「虫がいっぱいいてうれしかった」など、概ね好評をいただいた。一方で「セミも今年は少数」「トンボを見かけなくなった」といった生物相に対する肌感覚の変化のほか、「報告書が書きにくい」といった改善を求める声も挙がった(表Ⅱ-2-7)。

③協力団体

団体では子どもスキップ朝日、目白小学校、池袋いづみ幼稚園、南長崎はらっぱ公園を育てる会からの参加があった。

④調査対象種について

本事業を開始した平成27年度は、調査対象種は指標性を考慮して選定された。しかし、指標種の調査よりも生きものに興味を持ってもらう段階が必要であることが課題に上がり、平成28年度には親しみやすさ、見つけやすさをもとに対象種が見直された。

報告件数が増加し、「生きものへの親しみ」という目的がある程度達成できていることから、令和4年度から指標性も再び考慮し、オオカマキリとクロスジギンヤンマを調査対象種に追加した。オオカマキリは草原性で、樹上性のハラビロカマキリとは棲み分けている。都市部では草原環境が減り、街路樹などで生息できるハラビロカマキリが優勢であるが、区内の環境を探るため対象とした。クロスジギンヤンマは、薄暗い水辺環境を好み、明るい環境を好むギンヤンマと棲み分けている。樹木に囲まれた学校ビオトープなどではクロスジギンヤンマの方がむしろ多いことがあり、こちらも区内の環境を探るために対象とした。

今後、見つかった場所や件数を蓄積することで、生きもののすみかとなる環境やその変化を把握する一助としたい。

⑤参加者を増やす取り組み

引き続き、市民団体や学校との連携を行っていくことが望ましい。総合学習や理科の授業、クラブ活動などに取り入れてもらうことで小学生や中高校生の参加が期待できる。また保育園や幼稚園での自然遊びの延長として取り入れていただいている事例もあり、引き続き連携していきたい。幼児も取り組みやすいよう、見つけた生きものの写真に○をつける、シールを貼る、というような形式のレポートも一案である。

加えて、職員が常駐している公園や緑地での配布も効果的と考えられる。区立施設では池袋の森、目白の森、目白庭園などが挙げられる。私立の施設であるが、緑量の多い学習院大学でも可能であれば周知されることが望ましい。

表Ⅱ-2-7 参加者の感想 (1/3)

調査 レポートの 通しNo.	感想
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ムクドリの子がおしゃべりしながら赤い実をつついていました。今まで鳴き声がなかったのに大きなカラスからも身を守り、元気に育ってくれて嬉しかったです。 ・池袋の森にオナガが5匹でおしゃべりしていました。木々を行きかいらすっきり森の住民になっています。 ・オナガが7羽いて、木から木に飛び回り大きな声で鳴いていましたが私がカメラを向けると静かになっていました。 ・夜7時の雑司ヶ谷霊園でも31℃！思ったより生きものが少なかったです。カブトムシも木の根元と石の間で涼を求めていました。 ・今年はセミの出現が遅く、数も少ないように感じます。セミの抜けがらもあまり見ません。 ・例年よりセミの鳴き声が少ない様に思います。先日ニュースで新宿御苑のセミが少ないと調べたら、早朝のカラスの捕食だったとか！ ・池袋の森の草むらにヤマトシジミが20頭くらい乱舞していました。 ・セミのぬげがら発見！70cm位の高さの小枝にいたのでちょっとびっくり ・目白庭園の高い木2本にオレンジ色のキノコが！心配です。 ・「エコライフフェア」の豊島の森で、お話を伺いました。例年、5～6月にいるカナブンが今年は8月に出現したこと。セミが少ない。柳につく蛾が今年はいない。イラガも。ハバチとキマダラカメムシが大量だったこと。観察することで変化を感じる。生きもの調査って大切ですね。 ・雨の一日、そこかしこから蛙がビョンビョン！20分で22匹に出会いました。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンコのお散歩で朝晩少しづつ秋らしい空気感が出て来たのを感じる今日この頃ですが、しかし日中はまだまだ厳しい暑さ残っていますので 頑張りましょう ・こんなに気候変動があっても 彼岸花はちゃんと時期になると開花するんですね 植物は凄いです！ ・秋から初冬のような涼しさがやって来ましたね 昨日の朝郵便受けの蓋を開けると赤トンボ？が隠れていました 死んでいるのか？と思いましたが いつの間にか姿を消していました
5	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の花壇の花をみたら葉がなくなっていることに気づき、よく見ると幼虫が葉を食べていることを発見した。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・8/29、マンションにある自宅ベランダで死んでいるイトトンボを発見しました。これまでにヨトウガ、カメムシなどの昆虫をベランダで見つけたことがありますが、イトトンボは珍しく今回報告しました。詳しく観察すると腹部第9節の全体が青色であったことから、アジアイトトンボ♂と同定しました(体長25mmとアジアイトトンボとしては小さいです) ・また昆虫以外では、8/20、21の日没時に大塚駅前の街路樹(イチョウ)で100羽程度のスズメの罅入りを観察しました。近年都心ではスズメの個体数が減少していると言われていますが、駅前のような騒がしい場所での罅形成は興味深い現象です。 ・要望ですが、このエクセルシートの報告書が書きにくく、ウェブサイトから要点を記入して報告できるようにしてほしいです。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・いっぱいむしがみられてうれしかったです。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼたをげつとしてよかった。たのしかった
11	<ul style="list-style-type: none"> ・いろんな生きものがいてよかった。たのしかった。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・いろんなむしがいてたのしかった。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・生きものに出あうことで、うれしい気持ちになった。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・虫がたくさんいてたくさんがしてとてもたのしかったです。
15	<ul style="list-style-type: none"> ・つかまえてにげちゃった虫もいたけどかわいかったし、いろんな虫を出会えてうれしかったです。これからも虫さがしをしたいです。
16	<ul style="list-style-type: none"> ・虫がいっぱいてうれしかったです。またみにいきたいです。
17	<ul style="list-style-type: none"> ・わたしはむしがしをはじめてやって「とれるかな～」と、しんばいしたけど、いろいろいてとてもたのしかったです。
18	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達と虫さがしを楽しみました。都心の小学校の裏庭でこんなに昆虫がいるのだと改めて思い、よく見かける昆虫なのに知らないことも多く、身近にある環境で色々楽しむことができると感じました。
19	<ul style="list-style-type: none"> ・ニホンヤモリの画像は、ゴキブリ獲り器にかかってしまったのもです。救出を試みましたが、尻尾が少し切れて弱ってしまいました。足の指がまだ赤かったので赤ちゃんでした。残念。 ・ニホンヤモリは、家の守り神として大切にしたいです。
20	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年は来てくれたエナガが今年は姿を現しませんでした。セミも今年は少数でした。周囲では、わずかに残っていた木や茂みを除去し、建物が建っていくという動きが止まりません。豊島区の自然がなるべく維持されることを祈っています。

表Ⅱ-2-7 参加者の感想(2/3)

調査 レポートの 通しNo.	感想
21	・今年毎日染井れい園に通って探鳥をしているので、そのついでにと書いてみました。自分でも、こんなにわたりの鳥が来るのかと、おどろいてしまうほど、沢山の鳥が見れました。今年は当たり年のようで、その他にもオオタカ(10/4、10/15、10/24など)やアオバト(10/14)エゾビタキ(10/15)が見れました。同じく染井に通うおじさんの話では、アオゲラもいたようです。カケスの声も「ジャージャー」と聞こえた日もありました。身近にここまで鳥がいるなんてとおどろきました。今年は染井れい園ではシジュウカラ、エナガ、ツミ、オナガ、キジバトが子育てをしていました。
23	・今年の夏は非常に暑かった為、野外での生きものさがしをする機会も少なかった。
39	・ハラビロカマキリを見つけれなかったのでこんど見つけたいです！！
40	・以前に見かけたハラビロカマキリ、アキアカネが見つからなかったので減っているかもしれないと思いました。
42	・自宅の庭や近隣施設・小学校などの生きものを10年以上観察してきています。今年はハラビロカマキリやクビキリギスに最後まで会えませんでした。6月に庭でコカマキリの幼虫を見つけた時は「今年も会えたね。大きくなってね！」という気持ちでした。8月には成虫の姿をよく見かけたので、無事育ったようです。 ・今年は猛暑・酷暑のせいでしょうか？見かける生き物の種類や個体数が心なしか少なかったような気がします。また、アズマヒキガエルのオタマジャクンがなかなかカエルにならなかったり、セミの初鳴きやキンモクセイの開花が今までで最も遅かったり。季節が「四季」から「二期」へと移行しつつある兆候を、まるで生きものたちが察知しているかのように感じられます。
43	・家の近所にたくさん昆虫がいてびっくりした。意外とチョウやトンボがとんでいる。木や緑の多いマンションに住んでいるので、虫や鳥が多い(お母さんはキャンプ場みたいと言っている。)ミヤマカラスアゲハは初めて見たチョウなのでビックリしました。
44	・たのしかった
45	・近隣散歩を日課としているが、いきものさがしをしながら歩くのは漫然と歩くよりは飽きずに歩くことができ自然と歩数が増えている。また写真を撮ってはどのいきものかを調べるのも頭の体操になって心身とも健康維持の役に立っている。
52	・豊島区にこんなにたくさんいきものがあるなんてびっくりしました。とてもおもしろかったです。
56	・いろいろな生きものがみられてよかったです。また、としま生きものガイドブックを見て、生きものがとんなどころにいるかを見られたので良かったです。学校で生きものをさがすときがあると思うので、生きものがとんなどころにいるかを思いだしなが見つけてみたいです。
57	・行ったら虫はぜんぜんいなかった
62	・よその人のいえにカエルがいてびっくりした。
67	・けっこうさがすのがたのしかったです。またこんどさがしたいです。
69	・いろいろな生きものを見つられてうれしかったです。またやりたいです。
70	・セミやトンボはあるっていいのぼしよにいるけどチョウはみじかなぼしよによくいることがわかった。
73	・おばあちゃんの家のには、いろんな植木があるのでいっぱいちょうちょうちよがくることがわかった。
74	・いろんな生きものがさがせて楽しかったです。とくにすきな生き物はモンシロチョウです。
75	・しおからトンボをみて小学校でそでたトンボかなとおもいました。
77	・8月になったらセミがいっぱいでできました。
78	・生き物さがしで、たくさん生き物を見つけることができてたのしかったです。
79	・目白庭園は水辺にいる生きものが多かったです。
80	・うでにコガネムシが止まった。
83	・夏休み中にたくさんとんぼを見ましたが、とぶのが早すぎて何のしゅるいか見分けられませんでした。
84	・いつも歩いている道とかに、いろんな虫や生き物がありました。色んなところに虫や生き物が出て探るのが大変だったけどすごく楽しかったです。
88	・レポートにかいてあった生きもの2分の1ぐらいしかいなかった。もっといっぱいいると思った。
141	自宅の壁に、光に集まるいろいろな蛾がやって来るのが楽しかったです。
142	・この夏、自宅マンションのかべに、アゲハのサナギが次々とあわれました！15匹もみつけ、びっくり！羽化した成虫を確認したのは3頭だけでした。 ・8月28日に子ども達と校庭の生きものさがしをしました。子ども達は「生きもの発見レポート」を、熱心に書いていました。とても楽しい活動ができて、良かったです。
143	・今年は大変暑く長い夏だったこともあってか、10月になってもアゲハやシオカラトンボなどを頻繁に見かけました。温暖化の影響が生きもの生息時期にも表れていると感じました。
145	・意識してよきさがさないと意外と見つからないのだと思いました。トンボを見かけなくなったなあと思いました。
147	・たのしかった！
148	・生きものを探したり、見つけた時、楽しかったです。クロアゲハを見つけた時、コウモリかと思ってビックリしました。
149	・こんな暑い中でがんばっていると思った。今年セミ少ない気がした。

表Ⅱ-2-7 参加者の感想 (3/3)

調査 レポートの 通しNo.	自然や生きものを守るために、これからやってみたいこと・自分ができること
1	・虫が苦手でも、写真を撮ったり、この“生きものさがし”を知ってもらったりしています。
5	・公園の花壇の植物を見て関心を持ってくれる人、花壇の植物を育てるボランティアを増やす
13	・ヤゴをそだてる。虫が生きていけるかんきょうをつくること。
14	・しょくぶつなどを大切にすること。しょくぶつなどをふやしてみどりの町にする
17	・いきものをまもるためにみつけたらあんしんなどところにつれていきたいです。またしも、きょうりよくできるようにがんばりたいです。
18	・自然の大切さを子ども達に伝えていきたい
20	・植木や草地の維持
21	・染井れい園のみ力を伝える。残さず食べるなど、ロスを減らす。
38	・樹を残すこと。
39	・森をふやす (木をふやす)
40	・ゴミ拾い
42	・数年前から小学生や保護者を誘い学校ビオトープの清掃&生き物観察を実施。休み時間などによく観察をしているとのことで、今後も子どもたちに寄り添った活動を続けていきたいです。
43	・木を植える 育てる
44	・にんき (こん虫大好き虫プロチャンネル) ユーチューバーになって昆虫の山を買う。
45	・自宅の庭で花や野菜を育てるのもさきやかながら昆虫たちの為になると思う。また近くに公園は自然維持の役に立っていると思うので大切にしていきたい。
50	・ゴミをちゃんとゴミばこにする。
52	・公園のボランティアにさんかすること
56	・食べものをそまつにしないことや、生えている葉っぱや花をぬきとらない。
65	・木を切りすぎない
69	・これから生きものをもっとたいせつにしたいです。
71	・生き物を大切にすること。
73	・いきものがすきな場所をつくってあげる
74	・わたしは、森などで生きものを見つけたら、大切にしたいです。
75	・ポイすてしない
78	・自然や生きものを守るために、これからは生き物や植物をたいせつにしたいなと思います。
83	・自然の本を読むこと。
88	・木をあまりきらないようにしたり、木がある公園をいっぱいふやしたい ・ゴミを外にすてないようにする
141	・自宅に、池や植物を維持していきたい。
142	・小学校のビオトープの管理をボランティアで手伝っています。子ども達が自然の生きものとたくさんふれあえる環境をつくっていきたいです。
143	・豊島区の住宅地にもたくさんの生きものがあることがわかりました。緑を保つまちづくり (自分の家の周りから) をしたいと思います。
145	・自然や生きものを、大事にすること
146	・生きものに興味をもち、名前を覚えたり観察したりする。
147	・これからもいっぱい一緒に遊びたい。
148	・生きものいのちを守るために、足でふまない様子を気をつけて歩きたいです。
149	・草木を大切にしたいと思った